

<p>第14号 平成21年12月</p>	<p><b>もう一つの道</b> 情報は、うのみにせず、注意深く徐々に試してください。</p>	<p>山田整骨院 熊本市出水4-25-1 096-364-7611 <a href="http://yamadasu.com/">http://yamadasu.com/</a> E-mail:yamadasu@opal.ocn.ne.jp</p>
--------------------------	---	--

## 感激！！自分の本が出版なんて！

12月15日「腰痛 首・肩の痛みを取る！」“匠の技を持つ23人”（現代書林発行、1400円）が出版され、全国の書店での販売が始まりました。これは現代書林の企画で、全国の整骨院を対象に独特の治療法と治療実績を有する治療家に呼びかけて実現したものです。東京等関東が13、大阪等関西が7、愛知が2、九州では熊本の山田整骨院が只一つ載っています。整骨院の治療法は千差万別で、この本でも23人の23とおりの治療法が書かれていて、大変興味深いです。まるぶん書店等にありますので、ぜひ買ってみてください。

現代の医療では標準化が言われて、どこの医療機関に行っても、大体同じような治療が施されることを言うのですが、それは功罪相半ばするで、良く言えば何処でも間違いない治療を受けられるということですが、逆に言うと患者毎に適した治療かどうかということになります。これは大きな問題ですので、稿を改めて、別の機会に書いてみたいと思います。いずれにしろ、山田整骨院も独特の治療と実績でこの本に載った訳ですからそれを説明したいと思います。

## 独自治療その1. 四位一体療法

271ページに四位一体療法が書かれています。四位一体とは筋肉、皮膚、食事、精神のことです。この本は痛みを取るのがテーマなので、痛みを取るための方法になっていますが、実はこれは身体の健康を保つ病気予防法であり、また病気になった場合は治療法なのです。筋肉が硬いとそれが神経を圧迫して痛みをひき起こします。筋肉が硬いということは、血液の流れが悪くて老廃物や毒素がたまっているということです。そこでグローミュ（側副循環路）を活用する毛管現象発現運動療法や温冷湿布等で血液循環を良くして、有害物質を排出させ、筋肉を良い状態にして、柔軟にするということです。皮膚は体内と体外の境界線であり、境界線が壊れると、体外の菌やウィルスが侵入してきます。だから皮膚が損傷されないよう注意し、もし傷ついてもすぐに修復されるよう準備しておきます。又、皮膚は排泄や呼吸活動をしていますので、その働きを活性化

させるため、温冷浴法や裸療法あるいは薄着をします。足にマメやタコが出来ている時は血行が悪く、新陳代謝が悪いということですから、足の温冷浴をして血行を良くしてやれば簡単にマメやタコは無くなります。食事は体を作る大基です。食事によって体は作られています。良い物を食べれば良い体が出来、悪い物を食べれば不健康な体ができるのは当然です。又、食べる量も大事です。現代病の大半は食べすぎからきています。その最たるものが糖尿病です。これ程問題となっているのに政府の予防対策はどうなっているのでしょうか。本気で予防しているとは思われません。各個人で予防しないと大変な末路が待っています。良い食材を少量で済ますのが理想の食事です。社会的なつきあいがありますから、いつもそうはいきませんが、それが基本です。そうするとケガをしにくい、してもすぐ治る、体が疲労しにくいので、睡眠時間は短くて済む、その分仕事、勉強が出来る、経済的にも安くつくといいいことばかりです。大変厳しい現在ではもってこいの食生活です。精神、これが一番大事だといっても良いかもしれません。何でも気持ち次第です。同じことが起こってもプラス思考の人は良い方に考え、マイナス思考の人は悪くとります。現在ではそのプラス思考、マイナス思考が自律神経に大きく関与することが分かっています。簡単に言うと、マイナス思考は自律神経失調状態を起こすということで、それは病気を招きます。一番分かり易いのが不眠となることです。不眠になれば体の働きがメチャクチャになることは体験者の方はお分かりだと思います。余談ですが、不眠は薬以外の方法で解決しなければなりません。薬に頼ると依存症になり、薬から脱け出せません。薬以外の方法があります。私が専門学校在籍時、時の校長が口を酸っぱくして事ある毎に訓示していました。「医療人の不用意な一言が患者の死を招く。」つまり治らない等言ったら、患者さんは本当に死んでしまうのです。希望の言葉では患者さんは元気づくし、反対に治らないと言われたら、どうなるのでしょうか。人間の体は治るようになっていきます。治らないのはその人が治せないのであって、治せる人の所へ行けばいいのです。気持ち、心が大変重要です。

## 独自治療その2. ペインシフト

石橋輝美先生が永年かけてあみ出した痛みを取る治療法。一言で言えば痛みを出して痛みを消し去る治療法。即効性があり、その場で痛みがなくなります。永い臨床と深い思考により確立された治療法で、スポーツ選手や早く仕事に復帰せざるを得ない人に特に行います。泣く程痛い治療ですが、奇跡的に痛みがなくなります。

一昨年、熊本県高校サッカーの決勝戦の2日前、ルーテル学院高校のゴールキーパーが、足が痛くてボールを蹴ることが出来ないと来院しました。悲鳴をあげる位の痛いペインシフトを行いました。治療終了後、蹴っても痛みが出なくなりました。スムーズにプレイが出来て、結果、優勝しました。